

新年にあたって

株式会社八重桜

代表取締役 西 勝筆

あけましておめでとございます。旧年中は格別のご厚情を賜り誠にありがとうございました。おかげ様で弊社は今年創業二十周年を迎えます。少子高齢化に伴う諸問題は益々深刻になって来ているような気がしています。私が介護事業者として道筋をつきたいことは、経済的、家族的に恵まれない高齢者に安心な暮らしを提供する終の棲家のビジネスモデルの創造です。簡単ではないことは承知ではありますが、二十五周年に向けて鋭意取り組んで参りたい所存でございます。どうか今後ともよろしくご指導ご鞭撻の程をお願い申し上げます。末筆ではございますが、皆様のご健勝とご発展をお祈り申し上げます。



デイサービス八重桜 本店

「クリスマスBOZZコンサート」

十二月十五日

久しぶりにBOZZの皆さんに来ていただき、クリスマスコンサートを開催しました。「ジングルベル」「きよしこの夜」等おなじみのクリスマスソングや、クリスマスを連想させる曲などで、紅一点のボーカルの方のハイトーンの伸びのある歌声にうっとりさせられる場面もありました。



楽器は生ギター一本の弾き語りから、セッションまで歌に合わせて最適な演出をしてくださいました。皆さんにも歌詞が配られ、歌声を合わせて会場が一体となって盛り上がった一時間でした。



「私たちも社交ダンスを」 十二月二十日

今日初めて来て頂いたタハラクラブは、女性五名の社交ダンスの方々です。

まず初めにタハラクラブの方からモール(飾り付け用)の首飾りを皆様の首に掛けて頂き雰囲気盛り上げ、ワルツやタンゴといったステップを華麗に舞って頂きました。

驚いたのは曲に合わせて衣装も全て変えられたことです。その変わり身の早さには目を見張るものがありました。利用者様を交えての社交

「恒例のデイサービス八重桜餅つき大会」

十二月二十八日

年末恒例の餅つき大会の朝。利用者様が集まるにつれて始まり始まりい：ベッタンベッタンと軽快な音と共に餅つきが始まりました。「昔を思い出すわ」と仰る利用者様や、職員も交代で汗まみれになりながら杵を振り下ろしました。別テーブルではつきたての餅を丸める職員、利用者様がいます。餡子、きな粉に砂糖醤油「やっぱりつきたては美味いわ」と笑みを浮かべる方々を見て、ああ、年末が来たんだなと実感しました。

最後に綾部本部長の挨拶と一本締めで今年の餅つき大会を終了しました。



ダンスもあり、慣れない足取りでステップを踏まれていました。社交ダンスという非日常的な貴重な体験をさせて頂きました。



デイサービス八重桜 朱雀



〔八重桜朱雀館の恒例もちつき大会〕 十二月十四日
 今年もお正月に向けてお餅つき大会をしました。古来よりお正月のお餅は、新年を司る「年神様」が元旦にやってきて新年の魂を授けてくれるもの、と考えられてきました。ここでいう魂とは生きる気力だそう。私たちも「よしよし」の掛け声に思いを込めてお餅をつかせていただきました。精一杯お餅をついて、ご利用者様と一緒に餅を丸めていきます。そのお餅は皆さんでおしるこにして美味しくいただきました。お餅をのどにつめることもなく、無事に美味しく召し上がっていただきました。

〔皆で演奏クリスマス会〕 十二月二十五日

朱雀のクリスマス会、今年はビンゴゲーム・ハンドベル・合唱等で和やかな雰囲気のカリスマス会となりました。ハンドベルは、職員ではなく、ご利用者様の手でクリスマスソングを奏でいただきました。ハンドベルは一年でクリスマス会くらいしか触ることがないのですが、少しの練習で綺麗に演奏してくださり大成功でした。ビンゴゲームでは、テーブルごとに職員が補助させていただきました。数字がよみあげられることに、大歓声があり大変盛り上がりました。



〔新年に向けての準備、工作の日〕 十二月三十日



大晦日には、新年に向けての大作の作品を完成させました。この日に向けて、毎日空いた時間にご利用者様と一緒に、着々と準備をしていました。朱雀のご利用者様は皆様達筆で、習字をしていただくことも関心するような字を書いてくださいました。習字で「令和」と書かれた風のモチーフを中心に、周りには一年の四季を折り紙で表現した作品が出来上がりました。一人一人の小さな作品が一つの大きな大作となり、皆様も満足のいく出来となったようです。
 令和二年 皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

デイサービス八重桜 押熊



〔又エヌエのボランティアによるフラダンス〕 十二月二日
 司会進行の男女お二人、アコーディオン演奏一名、ダンサー三名で来られ、利用者の皆様にレイをかけて頂きました。またフラダンスを見るだけでなく、ダンスのレクチャーの後利用者様も前に出て一緒に踊りました。ダンサーの方たちは曲に合わせて衣装もチェンジし、着替えている間もクイズ等で皆様楽しんで頂いています。
 また、今月お誕生日の濱田様の誕生日会もこの時に開いて頂き、大変喜ばれていました。

〔手作りおやつでクリスマス会〕 十二月二十五日

年に一度の、施設長が丹精込めて手作りおやつを作る日です。この日はフルーツサンドを作りました。生のフルーツは利用者様の希望によりイチゴとバナナを使用し、生クリームでサンドしています。さらにイチゴでサンタ、マシュマロで雪だるまを作り、クリスマス雰囲気を演出しました。皆様からは、美味しかった、ありがとう、の声を沢山頂きました。おやつが終わってからは、職員がサンタコースとトナカイになり、プレゼントをお渡ししました。実用的な品がいいという声に添えて、入居の方は湯呑、通所の方はフェイスタオルをお渡ししています。



〔皆様と一緒に餅つき〕 十二月二十七日



レクリエーションで皆様と餅つきをしました。杵は小さいサイズもあるので、利用者様全員に杵を持ってもらい餅つきの雰囲気を味わって頂いています。杵をつける利用者様には職員と一緒に餅をついて頂き、つきあがった餅は女性利用者様と職員とで丸めてもらいました。
 おやつ時間に、小さく切った餅をおしるこに入れて皆様にお召し上がり頂きました。皆様、甘い食べ物がお好きなこともありとても喜ばれ、おかわりをしたいと言われる利用者様もおられました。

デイサービス八重桜 平城



【優雅な日本舞踊会の訪問】 十二月二日
 今回は朱花会の皆様による訪問です。催物は日本舞踊。踊り手さんの指先までの細やかで優雅な仕草に、利用者様の眼はくぎ付けになりました。厳しさの中にも優しい優しさを感じられます。いよいよ最後というときに耳に馴染んだメロディーが聴こえてきました。そう、「炭坑節」です。それまでの緊張感もあつたか、利用者様も急にザワザワしだしました。朱花会の皆様も手招きしてくださったので、何人かの利用者様が輪に入つて踊りに参加され、師走を迎えた平城館は熱気溢れる歓声で満ちていました。

【楽しみにしているフェイシャルエステです】 十二月九日
 女性にとって「美」は永遠の憧れと言われています。幾つになつても若々しくいたいものですよね。そこで今回はフェイシャルエステの訪問です。専門のクリームを顔全体に塗つてマッサージ開始。微妙な指加減が皮膚の奥までクリームを浸透させていく様は、見ているも気持ち良さそうです。中には本当に居眠りされている方もいらっしゃいました。実際に施術前と後では皮膚の輝きが全然違つていて、利用者様も鏡でその効果を実感。満足いく結果に驚きと笑顔が満ち満ちていました。



【楽しいクリスマスがやって来た】 十二月二十五日
 楽しいクリスマスが平城館にもやってきました。職員スタッフによるキーボードの演奏で会が楽しくスタート。続けて、代表者ふたりが食べるシュークリームのどれかに辛子が入っており、それを利用者様に当ててもらおうゲーム「ロシアンルーレットシュークリーム」で楽しんでいただきました。次はカラオケを使って、皆様でクリスマスソングを大合唱。最後はサンタクロースとトナカイが登場してプレゼントを渡しました。おやつ時間はシャンパンと手作りケーキをご用意して皆様と一緒に「メリークリスマス乾杯!!!」この響きだけがどこまでもこだましていました。

老々介護対策

①

近年、要介護者を介護する同居の配偶者や子夫婦もすでに高齢化しているという「老々介護」が年々増えているという報告があります。厚労省の発表では六十才以上同士の「老々介護」の割合は約七割、六十五才以上になると五割強、七十五才以上約三割という結果が出ています。

桜の広場

国は、在宅介護の充実のため地域包括ケアシステムの構築を急いでいますが進捗しているようには見えず「老々介護」の課題は残されたままです。なかでも介護者も要介護認定を受けている事態もかなりあると推測できます。二人世帯の二人共に要介護者であると在宅での生活は非常に危険であると言えます。一方施設系のサービスはというと、民間の有料老人ホームは活発な整備が進んでいます。老々介護の世帯の入居が少ないと思われま

- 二人部屋が少ないというより、二人部屋の需要にマッチする物件が少ないので提供数が少ないのではないかと考えています。
- なぜ夫婦、親子での入居が少ないのか？
- 一 二人分の入居費用は負担が大きいのでは
 - 一 軽度者の方の生活自由度が少ないのでは
 - 一 暮らし慣れた地域と縁が切れるのがいやなのでは
 - 一 四六時中一緒にいるのはしんどいのでは
- 等々二人で入居するのはなかなか踏み切れないという人達の気持ちもよく分りますよね。それではいろいろな不安を取り除ける老人ホームがあればいいのではないのでしょうか。
- 私たちに提案があります。次号でお伝えしたいと思います。

馳せ走る 食の匠 のひとりごと

西 勝康

新元号が令和になり昨秋に天皇陛下の即位の礼がとり行われました。その翌日に世界中のVIP六百人が出席する晩餐会が行われました。

そのメニューは贅を尽くした献立であることは言うまでもないことですが、私が気になったのはメインディッシュの付合せに供された雑穀米のリゾットです。痩せた土地ゆえに稲作に不向きで作付けされた、貧しさのイメージがつきまとう雑穀がこの晴れの舞台で主役の「仔羊と黒トリュフの可麗なるパイ包み焼」をしつかり下支えしていたことに何かしら暗示的なものを感じたものでした。



富川 彩未

私が介護の仕事を始めてから四年十一ヶ月がたちました。ずっと以前から働きたかった仕事です。

介護の仕事をするまでは調理師の仕事をしていました。その時からずっと介護の仕事をしたくて、最初は初任者研修を受けに行つて資格を取得し、他所の施設で介護の仕事を始めました。ところがいざ働いて見ると、覚える事がいっぱい利用者様とお話する事も行事やレクリエーションもあまりなく、私が思っている事と違っていたので、四年弱でそこは辞めてしまいました。そのあとは実務者研修も受けて資格を取得しました。

私は年配の人とお話をしたり、レクリエーションをしたりするのが好きなのでデイサービスの求人を探していたところ、家から近い八重桜の求人を見つけて面接を受けました。入社してもうすぐ八ヶ月がたちます。働いてみると先輩から教わる事がいっぱいまだまだ勉強の身ですが、いつも利用者様から素敵な笑顔とお話を頂いて、それを励みに頑張っています。

私は、利用者様のお顔を実の母や祖母と重ねて考え、少しでもお役に立つ介護ができるように心がけています。私の祖母はもうすぐ九十一歳になりますが、奈良市内の施設でお世話になっていきます。時々母と一緒に顔を見に行きます。入院して二年三ヶ月が経ちましたが、最初のころは慣れなくて入院していました。スタッフがの方にもよくして頂き行事やレクリエーションにも参加してとても喜んでいきます。入居者様は、どなたも初めは不安で慣れない環境に戸惑う事もあるかと思いますが私も馴染める環境作りを心がけたいと思います。一日でも元気で長生きして頂きたい気持ちと、利用者様が安心して頂くことが私の願いと介護だと思っています。

俳句教室発表句 (敬称を略します)

おせち食べ 太つて嘆く 太いわたし

おせちは、いろいろ種類があるのでついはいっぱい食べてしまいますね

お年玉 この時だけの 存在感

お孫さんとおじいちゃんの何とも言えない瞬間ですね

除夜の鐘 テレビの前で 寺参り

一年というの歳を取るとあつという間ですね

お正月の 前日餅つき 楽しみです

今年のお餅つきは皆さんどうでしたか

十二月 早く食べたい カキフライ

食欲の秋は終わってもまだまだ美味い季節ですね

北風が おでん買う人 連れてくる

寒くなってきましたが、おでんで温められる季節になりましたね

除夜の鐘 練りし 願い 晴れ晴れと

次の年への希望が満ちあふれていますね

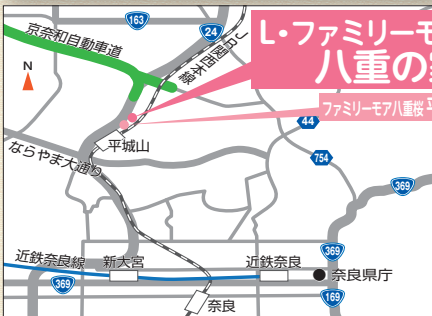
京の山 顔見世鐘が 鳴り響く

本当にしみじみと年の瀬を感じます

冬夕日 池面に映る 大仏の荷や

冬に見る大仏池も凄く綺麗ですね

JR平城山駅前に今春3月オープン! 空室残りわずか!



サービス付き高齢者向け住宅 **L・ファミリーモア八重の家** デイサービス併設

お問い合わせ先 **株式会社 八重桜** (担当: 大堀) ☎0120-27-3205 受付時間 9:00~17:00